

第2学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日 時 平成16年6月29日（火）5校時

生 徒 2年D組男子18名女子16名計34名

指導者 教諭 門脇 隆子

1 主題名 「家庭学習の取り組みと内容の見直し」 定期テスト に向けて

2 主題について

（1）教材観

2年生となり、中学校の生活も教師主導から生徒自身の自主的な活動を主とするようになってきた。中堅学年として3年生を支え、1年生のよき手本となるべく毎日を送ろうとしている。

家庭学習の取り組みは小学校から続いているが、中学校では内容や学習時間を充実させようと、1年次から指導してきているが、まだまだ漢字・単語練習でノートを埋めている状態、時間も10分~30分ですまそうという意識もある。

そこで2日後からの定期テスト に向けて、2週間のテスト勉強を振り返り、これからの学習の在り方について考えさせ、さらにテスト後の家庭学習についても考えさせたい。

（2）生徒観

2学年に進級するにあたり新しく学級編成をし、3ヶ月が過ぎようとしている。比較的大人しい生徒が集まっていて、学級の役員決めや自分の意見をみんなの前で発表するといった、「自分を前に出す」ということが苦手な生徒が多い。係や清掃といった班活動では、どちらかといえばしっかりしている女生徒にちょっと幼い男子生徒が引っ張られている感がある。しかしいずれにしてもまだまだ周りの声がけに自分の考え多少の自信がなくても発言しようとする姿勢を持っていて、授業の取り組みはとてもよいものを持っている。

家庭学習は毎日9割以上の生徒が提出していて、内容は1ページ以上のものを取り組んでいる。4月に学年集会において家庭学習ノートのいろいろな例を取り上げて、そこから例を取り上げて、そこから自分なりに「家庭学習のノートの内容」を学習した生徒も多い。ただ行を埋めるだけのノートを打破しつつある。しかし、「自分の弱点を克服しよう」「さらなる力をつけよう」という意識を持って取り組む生徒はまだまだ少ない。

そんな中でも、自分を少しでも高めようという生徒もいるので、学級全体が追随していけるようにさせたい。

これからの家庭学習をどのように取り組むかをそれぞれに考えさせたい。そして個々の家庭学習の在り方を自分なりにつかみ取らせ、自分にあった学習方法をすぐ実践できるようにさせたい。

（3）指導観

一人一人の家庭学習に対する意識の違いを認識させ、自分のこれまでの取り組みを反省し、これからの自分の家庭学習の在り方を確立させたい。

3 主題の目標【学級活動(3)「学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」】
【関心・意欲・態度】

自分の目標をしっかりと持ち、意欲を持って家庭学習に取り組み自己を伸ばしていこうとする。

【思考・判断】

自分の将来を見据えてしっかりとした目標を持ち、その実現に向けて今学ぶべきことや自分の学習について考え判断する。

【技能・表現】

主体的に学び方を身に付け、学習に必要な情報を収集、活用し、自分の学習の成果をつなげることができる。

【知識・理解】

自分から学習するために必要な情報を収集、そして活用の仕方を知り、自分の力や目標に合わせていくことなどを理解することが出来る。

4 指導計画と評価規準

時	学習内容	指導目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	家庭学習の分析	これまでの家庭学習を振り返って、これからどうすればよいのかを考えさせる。	これまでの自分の取り組みを振り返り、自分の目標に向かって意欲を持って家庭学習に取り組もうとする。		取り組み例から自分に合った学習方法を取り上げ、実践して毎日のものにつなげる。	
1	テスト計画	前回のテストの反省を活かし、目標を設定しそれに向かって学習計画を立てさせる。	自分の目標にあった計画を立て、それを実践しようとする意欲を持つ。		前回のテスト計画を参考、反省材料にし、教科毎の計画を内容や日程などを自分に合わせて立てることが出来る。	前回のテスト反省から、何を改善しなければならないか、そして計画を自分に合わせて立てなければならない意義を知ることが出来る。
1 (本時)	家庭学習の内容の見直し	これまでの取り組みを振り返って、よいところ・改善すべきところを自分なりに考えさせ、これからの学習に反映させる。	計画表やノートを基に自分の取り組みを反省しようとする。	これまでの取り組みからよいところをさらに伸ばすにはどうすればよいのかを、外の例を参考にすることが出来る。	目標に近づくためにこれからできること、しなければならないことを知り、技能を身に付けることが出来る。	計画表やノートから学習の進み具合を確かめることが出来る。
1	テスト反省	テスト計画表を基に自分の学習取り組みを反省し、不足している力を付けるための家庭学習の在り方考えさせる。	計画表を基に、取り組みが自分を高めるものであったか、計画が妥当であったかを考えようとする。	反省からこれからの家庭学習の在り方を考えることが出来る。	計画表から各教科の内容・取り組みの時間について反省することが出来る。	計画表に取り組みを毎日記入し、反省の材料にすることの大切さを知ることが出来る。

5 本時の指導

(1) 目標

これまでの取り組みを振り返って、よいところ・改善すべきところを自分なりに考えさせ、
これからの学習に反映させる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価規準 評価の観点	A 充分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手 だて
関心・意欲 ・態度	外の生徒の取り組みを参考にし て、よいところを取り入れてい こうとする。	計画表やノートを基に自分の取り組み を反省しようとする。	計画表に自分の学習内容や時間を毎日 記入させるようにする。
思考・判断	テストに向けた学習に限らず、 これからの家庭学習にもよいと ころを取り入れて取り組むこと ができる。	これまでの取り組みからよいところを さらに伸ばすにはどうしたらよいのか を、外の例を参考にすることが出来る。	その日の学習内容をきちんと確認して ノートに書かせ、実施時間の目標を確 認させる。
技能・表現	目標の再設定をして、計画の練 り直しができる。	目標に近づくためにこれからできるこ と、しなければならぬことを知り、 技能を身に付けることが出来る。	目標を再認識させ、今できることは何 かを確認させる。
知識・理解	計画表やノートから学習の進み 具合を確かめ、修正を図ること ができる。	計画表やノートから学習の進み具合を 確かめることが出来る。	計画表を書き、それによって毎日学習 を進めていくことの大切さを確認させ る。

(3) 展開

○留意事項 個に応じた指導・支援 評価

段階	学習活動及び内容、予想される生徒の反応等	支援、評価、留意事項、教具等
導入 10分	<p>1 11 日間の学習内容と実施時間を、計画表に各自でチ ェックして確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでいる。 ・教科によって偏りが出ている。 ・計画より遅れている。 ・計画よりも進んでいる。 <p>テストに向けた家庭学習の取り組み内容・学習時間 を見直そう。</p>	<p>○色鉛筆やペン等を使う。</p> <p>○教科毎の計画で実施できなかった部分・実施時間の不足の部分に 印を付ける。</p> <p>計画表に記録をしていない生徒 には少しでも思い出させて記入さ せる。</p> <p>挙手により自己チェックが出来 ているかどうかを確認をする。</p>
	<p>2 家庭学習ノートで、ノートのまとめ方や書き方を分 析する。</p> <p>(1) 教科について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの教科もまんべんなく学習できている。 ・いくつかの教科に偏っている。 ・まったく手を付けていない教科がある。 <p>(2) 内容について</p>	<p>○プリント配布、プリントに分析 結果を記入する。</p> <p>机間巡視 時間がかかりそうな生徒は手伝 う。</p>

<p>展</p> <p>開</p> <p>30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の学習ポイントの復習をきちんと行っている。 ・自分の弱点の克服のために繰り返しの学習をしている。 ・授業のノートをそのまま書いている。(まとめていない) <p>(3) 書き方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な字で、ポイントなどをきちんとまとめている。 ・余白を利用している。 ・繰り返し学習の確認テストをしている。 <p>3 あゆみノート・計画表で、学習時間について分析する。</p> <p>(1) 教科毎について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの教科もまんべんなく学習できている。 ・まったく手を付けていない教科がある。 <p>(2) 平日と休日の平均時間を比べる。</p> <p>4 それぞれの分析結果から、これからどうすべきかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ が遅れているので、しっかりと学習する。 ・ は進んでいるのでさらにワークを進めるようにする。 ・ 確かめをきちんとしていこう。 ・ これから 時間は勉強したい。 <p>5 発表させる。またそのほかの生徒は発表者の話から、いい意見・考えをメモするようにする。</p>	<p>自分がどうありたいかを考えさせる。</p> <p>○</p> <p>早く終わった生徒は、計画の練り直しをさせる。</p> <p>○分析結果から自分の学習を振りかえさせ、少しでも自分の言葉でこれからどうするかを書かせる。</p> <p>教科毎、内容、時間と、どの項目についてでもよいので書かせる。</p> <p>目標に近づくためにこれから出来ること、しなければならないことを考え、プリントに記入する。</p> <p>挙手・発表・プリントの記入</p>
	<p>6 発表から、自分も同じ考えである、取り入れたいと思った意見を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと教科毎の時間を増やそうと思った。 ・ノートの使い方を工夫しようと思う。 <p>7 家庭学習ノートのよい取り組み例、改善すべきことがある例を取り上げ、分析させ、発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な字・雑な字である。 ・毎日の学習ポイントの復習をきちんと行っている。 ・行っていない。 ・自分の弱点の克服のために繰り返しの学習をしている。 ・繰り返し学習しかしていない。 ・授業のノートをそのまま書いている。(まとめていない) <p>8 まとめる。</p>	<p>挙手・発表</p> <p>○コンピューター・プロジェクターにより提示する。</p> <p>挙手・発表</p> <p>○今日の学習の計画を確認させる。</p> <p>挙手・発表</p>